

**【2回目 16時～】**

**1. 開催主旨〈企画財政部長〉**

- 山本景市長が市長就任に掲げた、第一中学校区において「小中一貫校ではなく、小中別に整備する」との方針のもと、現契約の内容を変更する契約が可能かを判断するため、小小統合校を建設するとした場合の、基本設計費、実施設計費および建設費の概算費用の試算について、市長より現契約の受託事業者である「戸田建設・石本建築事務所・シードコンサルタント特定建設工事共同企業体」に依頼された。
- 共同企業体から概算費用が示され、令和4年11月の市議会全員協議会において、その内容を報告したが、市議会より「小小統合校の建設に加え、第一中学校の改修等にかかる費用を含めた比較をすべき」との意見を踏まえ、共同企業体から出された概算費用に、比較対象とすべき概算費用などを加え、本日配布した資料を作成し、市議会へもこの資料を示したことから、本日、山本市長からこれらの経緯と内容について、説明をさせていただくというもの。

**2. 市長からの説明〈市長〉**

本日は市役所まで足を運んでくださりまして、深く感謝を申し上げます。

私は、9月4日に交野の市長選挙があり当選しました。9月18日からは市長として就任しています。今回は配布している資料等の説明をすべきところですが、まずこれまでの経緯をさかのぼって説明します。

お手元の資料の裏側は、施設一体型小中一貫校に関する2年前に実施したアンケートです。教育委員会等が集計した結果として、やはり小中一貫校については2年前の段階でも反対というよりもやはり不安に思う方が多数を占めていたという現状があります。

細かい解釈のところはいろんな考えはあるとはいえ、やはり当時から施設一体型小中一貫校については、プールが敷地の中にない、運動場が結果として1人当たりが狭くなる、そもそも小学校と中学校の生徒児童が同じ敷地内で同じ建物はなぜ、といった否定的な考えを持つ方が、2年前は多かったということが示されています。

地域の方でも、交野が誇る伝統校といえばやはり交野小学校と星田小学校ですので、様々な意見もありますし、私は2年前の交野市議会に住民投票にかけるべきという考えのもとで、まずは議員提案にて市会議員の松村さんと一緒に住民投票条例を議会に出しましたが、残念ながら議会において否決されました。

到底納得できるものではなかったもので、改めて2年前の春において、今度は住民提案、市民提案で直接請求のための署名を集めて、施設一体型小中一貫校の是非を問う住民投票ができないかということで、市民の皆様が中心となり、有権者の10%以上、7,000筆を超える自筆の署名と捺印したものを集め、議会と市に対して、住民投票条例の実施を求めた次第です。

当時市長であった黒田さんは、住民投票の実施に反対という意見を付けて議会に条例案を提出し、また議会においても反対ということで住民投票は実施されませんでした。今から1年前の12月議会に、戸田建設等と施設一体型小中一貫校に向けて、解体、実施設計と造成、また建設などを一緒にしたデザインビルドという契約形態で、黒田さんの任期を大幅に超える期間であるにもかかわらず、仮契約を締結して、1年前の議会に契約議案として出され、議決を受けています。

それでもやはり市民としては納得いかないうところも多くありましたので、協議の上、最終的には今年の9月に市長選挙にて候補者を一本化という形で出馬をしまして当選し、そして9月18日から市長として就任し、そして9月20日に初登庁をしまして、その時から戸田建設等に対して直ちに電話連絡して契約を変えたいと、市としては解体も設計も、そして造成も建設も契約はしているのだけど、契約の変更をして小学校は単体で建設をしたい、ということで契約変更をお願いして、今回契約変更に関する回答が一定ありましたので、先ほど企画財政部長から話がありました通り、議会に説明をしました。

そして、本日は2回、午後2時からと午後4時ということで市民説明会、明日はPTAが開催で保護者の皆様に説明会を実施する予定となっています。

私が市長という立場ではありますが、市長と教育委員会というのは、まったく別の組織です。市長だからといって、あれこれやれと何でも言えるというものではありませんので、説明会の案内が遅いや、回数少ないなどいろんな意見があると思いますが、ご理解賜りますようお願いいたします。

過去、市長に就任してから説明会は実施してきました。その段階では戸田建設等からの回答がない段階での説明会でした。そして教育委員会に対しては、説明会の開催を多々お願いしていましたが、小中一貫校に賛成の方が多いグループでしか結果として説明会が開催されませんでした。

今回改めて市民に対して説明したいということで、本日になりましたが、遅いと、あとホームページにしか載っていないという意見も先ほどの説明会では、意見として頂戴しています。私としても、それを言われるのは大変心外です。改めて、別途ビラを作成し新聞折り込みするなどして、市民には周知を図ったということに関しては、申し述べさせていただきます。

資料を開いたところの費用に関してですが、施設一体型小中一貫校が1万5,870平米で66億9,000万円ということで、これは過去から示されている数字です。

今回小学校を単に統合して交野小学校を単体で建設するといった場合については、1万580平米ということで45億4,400万円と示されています。1平米で40万円ですので、かなり豪華な学校です。決して簡素な小学校を建てる計画というわけではないということです。

私の個人的な考えですが、小学校も中学校も耐震工事が終わっており、本来なら長寿命化すべきだと思っておりますが、もう既に交野小学校も取り壊されているので、今のみらい小の建物でこれから我慢してもらうわけにもいけないので、こちらとしては、交野小学校の敷地に小学校を建てる、一中については改修をするという前提で計算をしており、4つの案を書いています。最低、負担を考えるとやはり長寿命化だと思っております。

文部科学省においても基本的には学校というのは集約化、要は2つの学校を1つにするとかよりも先に、長寿命化であるということを示されていますので、私としては第一中学校については築60年ではありますが、財政負担等を考慮して長寿命化をすべきであるというふうに考えています。

2ページの表グラフがありますが、右から2番目で示す通り、市の負担額としては、32億9,400万円の長寿命化の方が、市の負担が少ないと示されています。なお、ここに出ている表以外にもまだ費用がかかるところはあります。

契約変更ともなると戸田建設等からそれにかかる費用を請求される可能性があります。中学校に関しては改修するときに仮設の校舎が必要となると、その費用も当然かかってきます。また、仮に小中一貫校で進めることになった場合についても、結果として、一中自体がなくなるので跡地利用が必要となります。売却したらいいという意見もあるかもしれませんが、なかなか学校があった土地を売却するというのは住民感情としてもあり得ないと思っていますし、あったとしても部分的に敷地の一部を売却する程度だと思っていますので、結果として一中は転用をすることが必要です。転用となると、結局一中の改修と同じく多額のお金がかかる予定です。

続きまして、スケジュールに関しては、特に保護者が気にされていると思います。すでに市議会の傍聴や動画配信で聞いている人もいらっしゃると思いますが、スケジュールに関してはいろんな案もありますが、今から学校適正配置などを議論するともっと遅くなるので、少なくとも基本設計と実施設計から入るものだと考えています。すると基本設計と実施設計でおおよそ2年と、建設で16ヶ月。16ヶ月といっても、これも2年と読むことができ、合計4年なので、結果として一貫校を建設する場合と比較して2年遅れることとなります。戸田建設等からは2年遅れるとの回答ですが、戸田建設等以外のところをお願いをするというわけにもいかないのので、結果として戸田建設等の回答が事実上の延長される期間となりますので、2年遅れることとなります。

なお、現状における保護者の考えというのは、実はPTAにおきまして、小学校と中学校でアンケートを実施されています。中学校に関しては、ほぼアンケートの提出はなかったため、賛成反対どちらかについては表現が難しいところですが、小学校の保護者の方からは半数を超える方々からアンケートは提出されており、私自身も全部目は通しています。状況を正確に、誤解の無いように言うと、賛成と反対と分からない、で意見は三つに分かれています。反対が一番多かったものの意見は分かれています、非常にこちらとしても対応に苦慮している状況です。

反対される方の理由としては、過去から変わってないですが、敷地内にプールがない、運動場については狭い。面積自体はそんなに変わらないのですが、小学生と中学生が一緒になっても運動場の面積があまり変わらないので、運動場が1人当たり狭いという考えを示される方が多いという状況です。

あと反対される三つ目の理由としては、そもそもなぜ小学校と中学校が一緒なのかということです。プールに関しては、正直、小中一貫校で建物の上にプールを建てれば、という意見もあるかもしれませんが、今の建物の上にプールを建てるといのが困難な状況です。体育館の上にプールを建てることについても斜線規制などいろんな規制などの関係もあり、建設することが困難です。

建物の上へのプールの設置は非常に厳しく、また、敷地内に小中一貫校でプールを建ててしまうとさらに運動場が狭くなってしまい、なかなか難しいというのが現状です。なお、小学校と中学校を別々にして小学校だけ交野小の跡地に建設するとプールは当然建設されます。運動場についても旧交野小学校の運動場がそのまま小学生だけで利用できるのです。結果として1人当たりの面積は広くなります。そういったメリットはあると考えます。ただし2年は遅れます。皆さんの意見、市民や保護者の意見も割れている非常に難しい状況です。

契約について正確に言いますと、既に議会を通った契約であり、いくら契約を結んだ市長が選挙で落選したからといって、契約としては有効です。変更するとなると、議会の議決が必要です。議会の構成については小中一貫校を推進した議員は10名、反対をした人は5名でしたが、そのうち私が辞職しています。

非常に難しい選択を私自身は迫られています。まずは今回、戸田建設等から一定小中を分離したら、どういう状況なのかが示されたので、市民の皆様にお知らせをする次第です。

また併せて、やはり今回の事業の進め方については、私自身非常に疑問に思っています。多分、教育委員会や当時の市役所の組織としてはこれがよかったと思うかもしれませんが、やはり私としては非常に残念に思っています。というのも、これだけ5～6年もの期間をかけて、施設一体型小中一貫校ということで進めていったにも関わらず、今小学校に通っている保護者ですらご意見が割れている、という状況です。要は小中一貫校を建設することになろうとも、小学校と中学校とを分けることになったとしても、これだけ多くの混乱、市民の皆様にご迷惑とご心配をおかけしたということは、やはり重く受け止めなければならぬと思っています。市長に関して黒田さんが悪いと言っても仕方がない話だと、絶対もう言いません。

ただ、教育委員会については、やはりこうなってしまったことに関しては重く受け止めなければならないと思います。今すぐ責任を取れといったところで余計混乱しますので、私としては、この一中校区の小中一貫校が、一定方向性が決まった段階で、教育委員会についてははじめをつけるべきだと思っています。

そしてまた、今後の小中一貫校については、もう三中校区は10年とか20年後に施設一体型小中一貫校という話がありますが、改めてそこについては検討すべきだと思っています。

ただし、残念ながら我が国は二元代表制です。市長が選挙で選ばれた。当然選ばれた公約は民意です。議会は議会で民意。その議員は皆さんご承知の通り、施設一体型小中一貫校の賛否なんてほとんど言っていないのです。それでも市会議員選挙で3年前に選ばれています。公約に掲げていなくても、その人らが賛成、反対と言えば一定その人達の意見も民意です。市長と議員とは、そういった状況も含めて話合わなければならないという、大変私としては心苦しいのですが、これが本当の話です。

議員の皆様とも今後しっかりと話し合っ、必要な説明については、市民の皆様、そして保護者の皆様にとしっかりと説明をしていきたいですし、皆さんのお声は真摯に聞いていきたい。私自身、スローガンとしてみんなで作るみんなの交野という言葉掲げており、賛成だろうが反対だろうがしっかりと皆様のお声は聞きますし、これからを聞いていきたいと思っています。

そういった状況等も含めて、皆様にお知らせをして、今後の方向性については、本日の説明会でのご意見や、後日改めて開かれる保護者の皆様のご意見などもしっかりと承った上で、どのように進めるのかについて決めていきたいと思っている次第です。

以上です。

### 3. 質疑応答

〈市民 1〉

元気よく公約に掲げて立候補され、みんなそれに期待したのですが、少し流れが変わったりして、残念で仕方がない。

戸田建設と交渉されたときに、戸田建設だけのご意見ではなく、他の建設会社やコンサルなどの意見を聞かれたのか。それを検討材料にしたのかも含めて聞きたい。戸田建設との交渉の内容に関しては詳しく説明をお願いしたい。

〈市長〉

市長としては、戸田建設やジョイントベンチャーとして造成設計や実施設計を担うシードコンサルタント、石本建築事務所も含めて協議いたしました。

市長の公の場としては、そういった形で戸田建設等と協議しました。また市長とは別の立場で、水面下で戸田建設以外のゼネコンにも話は聞いて、意見を求めました。ただ、他の会社とも話をしましたが、やはりもう契約を結んで契約済みであると。それを変更して、他の会社が引き受けるというのはもうほぼほぼ無理だ、という回答ばかりしかありませんでした。実際のところ、契約解除は認められています。契約変更も認められています。契約解除をしてしまうとこれは大混乱です。というのも業者の選定から設計などまたゼロからやるといえば、もっと大変なことになるので、そこは選択肢としてはない。変更契約となると相手方を戸田建設等以外のところとやるとなると、これはもう実質、契約解除なので、するとそこもない。戸田建設等と話し合いをして今回の契約変更に関する提案に至ったということで、ご理解賜りますようお願いいたします。

〈市民 2〉

スケジュールについて、戸田建設さんは最も短くなるものでも、基本設計、実施設計等、建設で最低でも2年間遅れるとのスケジュールですが、他の建設会社さんと契約しろということではないものの、他の建設会社さんならもっと短くできる方法やスケジュールがあり得るのではないかという気がして、他の建設会社との話というのは何かあったのですか。

〈市長〉

戸田建設等と話をしたところ、一応こういう回答があったという話です。第三者の意見として水面下で聞いていますが、基本的に契約変更ともなると、同じ会社じゃないと無理なので、やはりその会社の考えを尊重せざるを得ないというところがあります。もし契約解除して全く別の会社に、基本設計、実施設計、建設も全部まとめて発注して、全部任せる契約形態はあるという話ですが、ただそれは実質契約解除なので、それをやるというのは極めて困難ということで、そちらについては可能性としてはない、排除をして進めています。

私も気に食わないです。前の市長が結んだ契約なんてと個人的には言いたいところですが、我が国は法治国家ですので、前の市長が合法的に結んだ契約で議会の議決を経ているとなると、それに対する正当なアプローチとしては契約変更なので、すると戸田建設等の考えを尊重せざるを得ない。個人的にはもっと短期間という思いはありますが、ゼネコン側もリスクは当然覚悟していますので、当然期間についても長めに言わざるを得ないという事情もあるのかなと思っており、このような回答にいたったのだと考えています。

〈市民3〉

山本市長に対して、非常に苦しいお立場に立たれていることがよく伝わってきますが、まずは山本市長へのお願いです。公約について、ここで果たせるかどうかの最初の関所だと思っています。私は小、中別々校の整備、それを願っているものなので、ぜひとも頑張ってくださいと思います。

スケジュールについて、小学校統合の基本設計・実施設計は約24ヶ月、建設工事期間は約16ヶ月とあり、教育行政学者の方にお聞きしたのですが、この段階で建設工事期間の16ヶ月はわかるにしても、24ヶ月はあり得ないと言われたのです。戸田建設がこのスケジュールでしかできないと言うなら、そして交野市がそれに踏み切られるなら、これは当然行政不服審査を行えばいいとのアドバイスをもらったのです。

そのあたりのところは今後に向けて山本市長がどう考えておられるかお聞きしたい。



〈市長〉

今回の施設一体型小中一貫校は、石本建築事務所が基本設計を行いおよそ1年で  
す。今、石本建築事務所や戸田建設のグループがデザインビルドで行っている実施  
設計もおおよそ一年です。セットにしたら短くなるという考えをお持ちの方もいら  
っしゃいますし、私も聞いた方の中にはもうちょっと短くなるのではとの意見もあ  
りましたが、戸田建設等からはこのような提案があったという次第です。その背景  
として、設計する中で、市民さんへの説明というなかで手戻りなども出てきますの  
で、それらも考えると、戸田建設側としては、一定リスクは考慮せざるを得ない、  
そのリスクを回避するためには期間を長めに設定するという事も私は必要なのか  
なと考えています。

これだけもめている施設一体型小中一貫校の設計となると、いろんなご意見があ  
ると思います。ですので、ここの24ヶ月自体は確かに長い、早くしたいという意見  
もあることながら、やはり皆さんの合意なども慎重に取っていかないといけないこ  
とですので、期間が長くなっているところをご理解いただきたい。私も戸田建設以  
外のところを選べるなら選びたいですが、変更となると戸田建設等以外を選べない  
という、私個人としては大変苦しい状況にあるということですのでご理解を賜りま  
すようお願いいたします。

〈市民4〉

市長のご説明をお聞きして、大変困惑しております。そもそも交野市は、小学  
校、中学校の教育についてどう考えどう進めてこられたのか、全くわからなくなっ  
てきた。このままいくと一番恐れるのは、また市長が4年後に変わったときにどうな  
っているのか、余計わからなくなってしまった。

物事の進め方が全く逆で、普通は基本的な考え方がきっちり整理されて、その上  
で基本設計、実施設計がされ、工事が行われていくというスケジュールなのです。  
ところが、最初の基本的な考え方が、今のお話を聞いていると決まってないわけ  
です。一貫校を作るということで、新しい教育を目指したということで、ずっとそれ  
を理念としてビジョンとして交野市は今後の小、中学校教育を考えていくのだとい  
うように舵を取られたと、検討会などの時に受け止めたわけです。そうではない、  
みんな勝手に言っているだけですということになると、何を基準にして教育  
行政が進められているのかというのがわからなくなります。

そうすると学校の建物の問題とか、費用の問題とか、スケジュールの問題ということではなくて、そこで学ぶ子供たちの将来のこと、教育ですから100年の計を持つてやらないといけない。そのことについて、これだけごたごたしているようではどうしようもないと思います。まずそこをきっちりと市の行政の中で整理をしていただいて、その上でスケジュールなり、費用を算定するなりされた方がいいのではないかと。余計混乱を招くだけだと思います、というのが私の意見ですので、ぜひご検討いただきたい。

〈市長〉

今のご意見も大変ご指摘の通りだと思います。今日この場に立つ前に元市長の中田さんとお会いし、当時の学校施設や教育がどうなっているのか聞きました。当時、全部耐震工事してエアコン付けた学校を潰すことに大変お怒りでした。当時は施設一体型小中一貫校という話はありませんでした。

辞めさせられた教育委員の方にも直接、話は聞きました。なぜその時、小中一貫校という話がなかったのですかと聞くと、一校だけ小中一貫校を建てて、他はそのままなどあり得ない、公教育で不公平なのはおかしいと、その方も相当お怒りでした。中田さんのころはおそらく学校については長寿命化や耐震工事をする。当時は耐震工事とエアコンをつけてという話であって、今の文部科学省に関しても、統廃合ではなくまずは長寿命化ということを明確に主張していますし、私も東京に聞きに行ったときも、文科省の役人さんはそのように話していました。

ただ、黒田市政のときに大きく教育行政が変わったのだと思います。普通に考えれば、公教育ですから公正公平に校区に差が出ずにやるべきところを、一中校区だけ施設一体型小中一貫校にして、三中校区は将来的に小中一貫校にする。二中校区と四中校区は一貫校はやらない。小中一貫教育はやるのだけれども、というように大きく変わりました。

残念ながら市政に関して市長が変わると、教育行政は大きく変わってしまって、結果としてこのような混乱になったのだと思っています。ご指摘もごもっともののですが、ただ問題があります。戸田建設等とは契約済みです。4月から建設工事も始まります。すると、ではどうするという話を先にせざるを得ないと思っています。そういったことがあるので、私は、今回一中校区のところの方向性が、いずれにせよ決まった段階で、一定教育委員会がこの混乱の責任を取って、けじめをつけるべ

きだと思えます。黒田さんだけ市長を落選して辞めて、他は何も変わらない、というのを私はおかしいと思っています。ただ今すぐ辞めたらこの事態をどうするかという話になると、それはまずいと思っており、やはり市民の皆様に対して、このような混乱を招いた責任というのは誰かが取らなければならないというふうには思っている次第です。

確かにおっしゃる通りのご意見ですが、もう一中校区の一貫校については契約済みですので、この契約をどうするかを先に決めていかなければなりません。決めた後に、元の正常な教育行政と市政とをある程度分離を図るという方法に戻していきたいと思っている次第です。

#### 〈市民5〉

午後2時からの説明会と今回と2回続けて参加し、前半の方で子供たちの反応や保護者の反応などの話があり、みらい小学校の開校前に教育委員会のどなたかが子供たち向けに授業をされたと聞いています。そこで色々な話を聞き、交野小学校も長宝寺小学校にも学校の中に模型があり、ポスターを見たりしていたので、子供たちの思いは色々影響されたと思えますので、子供たちの反応は少し時間をおいて考えていただきたいと思っています。教育は100年の計に賛成です。1日も早く学校の建設が始まることは大前提ですが。一中校区だけプールがない学校ができる、中学生のグラウンドが狭くなるというのは、子供たちの9年間の大切な学校生活、まして一中校区の何十年にもわたる子どもたちの学校生活を考えると、本当に考えないといけないなと思っています。ゴタゴタしていることは事実ですが、考える機会を得たと思っているので教育委員会はじめ市長も、一番いい方法を考えていただいて、お願いしたいと思えます。質問ではありません、意見です。

#### 〈市民5〉

小学校と中学校、別々にすると公約で表明されて、所信表明でも表明されて、ぜひ頑張ってほしいなと思っています。小中一貫教育の方はこれからも続けていくということで、教育委員会の方も今までおっしゃっており、学校計画をどうするかという問題なので、小学校と中学校を別々に整備する。これは先ほど保護者の中でも意見が分かれているとの話もありましたが、私も私部在住の多くの有権者の皆さまに聞きしましたが、やはりなぜ小中一貫校の話が出てきたのだと。

もっと早く私部の大人たちがこれに反対だということをはっきりと示して、これを阻止するために頑張っていたらこんなことはなかったと、本当に残念な状況になっているという話をしていたので、ぜひこの機会に小中別々の整備を進めていくということで公約実現を目指してとことん頑張ってもらいたい。もちろん二元代表制というのもよくわかるので、まず市長がとことん頑張るという姿勢を見せてもらって、その上でどうなるかというのはいろんな問題が絡まってくると思いますので、ぜひ頑張ってもらいたいという意見です。

〈市民6〉

子どもがこの校区に通っている保護者ですが、一応ニュートラルの考え方を今持っています。みらい小学校は今、令和7年度の開校という形で聞いている部分と、今回小小統合校になると令和9年度開校という話で聞いている。この調整されている状況で、議会で議決が必要という話もあり、小中一貫校のまま進むとなった場合、令和7年度の開校が遅れる可能性があるのかというのが1点。それから令和9年度よりも早くできないという先ほど市長からの話ありましたが、例えば今の共同企業体でされている中で設計、施工一括発注方式の契約が取られていると思いますが、その場合に契約期間を短縮することができるのか、そういった検討をされた上で2年なのか、それとも行政側としてそういう考え方はもたずに2年とされているのか、聞かせていただきたい。

〈市長〉

戸田建設との協議で小学校単体での整備は最短で令和9年との回答がありました。ただし、実際やってみて実は少し早く終わりましたということはあるかもしれませんが、そこは確実でない、言われてもいないことを市長や教育委員会から言えない立場です。令和7年予定の施設一体型小中一貫校が遅れるかどうかでいうと、仮に、この件がもっと揉めて、結果として工事を止めてくれという話になり、止めて、また再開だとの話になれば、当然のことながら令和7年の施設一体型小中一貫の開校に関しても遅れる可能性は出てくる。今のところ、施設一体型小中一貫校の建設に関しては令和7年4月開校と聞いております。ただ、施設一体型小中一貫校を建設しようが、もしくは小・中学校を分離しようが、あくまで契約時点の金額であるの

で、金額については上がるのではないかと、ということも併せて言われている状況です。

今も遅れるとは言われていないですが、仮に、もし政治的に私が動いて、本当だったら市会議員選挙で議員を取り替えるために工事を半年遅らせると言ったら、それは遅れるのですが、それは普通に考えればおかしいですから、それこそ損害賠償請求などの話になりますから、私に関しては、こういったことはしない。あくまで仮に施設一体型小中一貫校になった場合については、契約通り粛々と進めていくべきだとは思っています。あくまで仮の話ですが。以上でございます。

〈市民7〉

すごくつらいお立場というか、矢面に立つようなことを引き受けてくれて、日々悩みながら進んでいただいているというのは改めて実感しました。

また、改めて北田教育長や市教委の方々には毎日通学と一緒に子供たちと歩いてくれるなど本当に努力していただいています。当初、保護者としてみらい小学校の最後のPTAでは閉校であったり、みらい小学校の立ち上げのお手伝いをしました。当初、3年前は行政や教育行政は何もしてくれないのではとすごく不安でした。しかし、たくさんのお話をいただいています。

しかし正直なところ、まだ足りないところがたくさんある。PTAがとったアンケートですが、賛成、反対をとるべきじゃないと意見しました。なぜなら政治的な利用をされるのではないかと、保護者に矛先がいき保護者同士の分断になる可能性が十分あるのではないかと、そういうお話をしました。

しかし本部の方が取った理由というのがあり、今までやはり保護者の意見や思いを表明する場はなかったと、本部の中でありました。今回はようやく意見を言えたということはすごく大きいことで大切にしたいと思っています。山本市長にはぜひまず小中統合をしたということについて、検証をしていただきたいと思います。今現在、統合して学校に行けていない子供たちや行きづらくなっている子供たちがいます。ただ議会ではこれはゼロになっています。学校の校長先生もゼロと言っています。

それにはいろんな守りたい大切な思いがあるからそうなのだと思いますが、具体的に私には話があるのです。学校行けていない、最後の6年生の運動会に出られなかった、フェスタにも祭りにも出られなかった、修学旅行もつらい思いをし

たなど。では、これがゼロになっていることに対して、子供たちや保護者に向けて誰がアプローチしていくのか、リサーチして状況を捉えることができるのか。学校の先生方もすぐに対応してくれていますが、それでも足りないのです。ぜひそこを山本市長に入ってもらってやってもらいたいと思います。

また、平成27年に公立の小中の適正規模の手引きというところに、大規模校は少し難しいところがある、小規模校も同じく難しいところがあるから、適正規模に戻そうというのが一つの始まりだったと思うのですが、大規模は難しいところがあるということが書かれており、今、過大規模校ですよ。この手引きにはすぐに解消していくようにといった内容も組み込まれています。やはりいろんな問題があるのです。具体的には、やはり子供たちが辛くなる、先生たちがさらに辛くなる環境がある。まずは小小統合して、やはりしわ寄せがいつていると思うので、願いとしては、まずは小小統合したことの検証をバイアスが掛からないように、やっていただきたいという思いがたくさん保護者からあります。

最後に賛成、反対、どちらでもないというような票の取り方を本部は書かれて、意見は分かれましたが、分かれていないものがあり、それは子供たちの今の辛い状況であったりや、それを解消してほしいとか、悲しみであったりとか、憎しみであったりとか、そういう思いというのはどの保護者も共通です。ここをなんとか賛成、反対関係なく、小小統合の検証をやっていただけたらと思います。

#### 〈市長〉

教育委員会という制度がありますが、残念ながら民意とは違っているところがあります。私は市長就任後、教育委員が4人おり意見交換しました。全員、小中一貫校は賛成でした。でも市民や保護者はどうかということも少なくとも全員賛成ではないという状況です。教育委員会がなかなか民意を代表しないということが明らかですので、今ご指摘の点も含めて、市長部局で一定、今後小中一貫校はどうかについて私は市長部局で一定やった方がいいと思っています。

そしてまた、不登校の話も私も別途聞いています。小小統合のところもどうだったのかという検証は大事ですが、ただ、まずは目下の施設一体型小中一貫校をどうするのかというところが最大の課題だと思っています。そちらの方向性を決めた後に、今ご指摘の点も含めて検討を進めていきたいと思っています。

〈市民8〉

この5年間、中学校のPTA会長などをやっています、その間にこの小中一貫校の話が進んでいきました。私は小中一貫校、施設一体型の是非というのは、功罪色々あると思います。その功も罪も判断した上でトータルとして、今の交野市のおかれている状況としては、当時の教育委員会の方々、あるいは市長の説明で納得して小中一貫校ということに対して、どちらかという、もうそれは交野市の今の状況だと受け入れざるを得ない、ということで協力して進めてきたという立場です。

そこに市長が変わって、その工事がまだ入る前に、まだスタートの前の段階で方針転換と、それが民意であればそれはそれでありだと思っていますが、もう既に交野小学校が跡形もなくなっている状況まで来て、じゃあ市長が変わったから計画はなしですということで振り出しに戻るみたいなことって、新しい市長さんは勝つためにその公約で、色々前の市長と反対の意見を言わざるを得ないとは思いますが、そこに子供たちの本当の幸せや教育の話がなく、パワーゲームのように反対派の人たちはやれやれ、みたいな話になっています。

結果として、例えば市長、一中の校舎の中を見たことありますか。どれだけ汚くて前近代的で、昔の設計は汚い、しかも尿の匂いがプンプンするような、令和の世の中かと思うような汚い校舎で、しかも窓の隅から全部割れ目が入っているわけです。ボロボロなのです。中田市長時は阪神大震災もありましたから耐震補強をやらざるを得ないしやって当たり前です。大阪北部地震もありました。まだ、あの中学校の子供たちに、いくら耐震補強したとしても中のブロックが割れているのです。割れていると当然そこに水が入って、鉄筋もさびて、建物のコンクリートの結着力がなくなっているような建物に、今さらどうしろというのですか。

私は何よりも先に、この小中一貫校のプロジェクトが、お金のない交野市のプロジェクトの中で、一番先に子供たちを安全な震度7でも耐える耐震設計がされた校舎に移すことができる、それが一番のメリットだと思って、どちらかという、それに協力していくべきだということです。このスケジュールの中に各小学校のことばかり書いてあるのですが、小学校をいわゆる象徴的なものになっているのですが、中学校はどういうスケジュールになっているのか。では、中学校の子供たちはいつまであのボロボロの、崩れたら耐震補強のところの枠組みだけが残って、その枠組みのないところは全部崩れさるような状態です、交野一中は。そういったトータルのことではなく、さっきのプールの話のようにワンイシューでそれをやり玉に挙げて

いますが、プールの問題だって非常に間違った情報で、ほとんどもうプロパガンダです。矛盾を隠して、そういうところだけやっている。ではこれから一中に行く子どもたちはいつまで危険な校舎の中で、危険にさらされながらやっていくのか。いつ、その遅れについてはどう考えていらっしゃるのか。

〈市長〉

まずは小学校と中学校との分離で、まず小学校の建設、その後一中の改修をするという計画ですので、小中の分離をまずやった上でその後一中の改修という話になりますので、現時点においては小中分離で2年遅れというところは示せるのですが、一中をどのタイミングで改修するのかは、まだ分離のところも確定してない段階において示すことはできないというところです。

なお昨日か一昨日に、私の報道の件が出ていたと思います。机と椅子を売って50万円で売れましたと。でも、そもそも交野に借金いくらありますかと。土地開発公社絡みでピーク時には400億円も不良債権を抱えていて、今でも140億円あります。

本当は子供たちの安全性を考えれば全部建てかえればいいのです。わかっています。しかし、そういう状況には残念ながらいいのです。では、何ができるのか、どうするのか。トータルの事業費は一定抑えないといけないのです。一中だけ綺麗にするということも公教育だったらできないのです。だからどうするのかということだと思っています。施設一体型小中一貫校については当初40億円という話もありましたが、これだけ費用が高騰してしまいました。もし単純に小学校と小学校との統合で交野小のところで統合していたら、もっと費用が安く済んだと考えていますが、もうすでに交野小学校も取り壊されたこととなってしまうたら、もう残念ながらこちらとしては次点の策として、交野小学校の跡地に新たな小学校を建設して、中学校と小学校とを分けて、中学校については改修するというところで、市民の皆様にご公約として掲げて、当選をして所信表明にて小学校と中学校については分けるという重点施策を図って、現在に至っています。

確かにご指摘の通り、では一中の建物は老朽化しているとか、財政が非常に厳しくて、中田前市長としては、耐震工事とエアコンを付けるということで終わらざるを得なかったという事情もあり、こういう自体に至っていますが、別にそれは一中だけの話ではないのです。他の学校も耐震だけやって老朽化、トイレも汚いなど、それはわかっているのです。



ただ、一中だけ綺麗にするというのは、なかなか私の口からは言えないです。黒田さんはそういったことを言っていました。私はやはり交野出身の政治家として、私が四中出身ですけれども、一中も二中も三中も四中もやはり何とか公平にやりたいと思っています。一中については修理ということで、我慢をお願いしないといけないですし、今さらこれだけ交野の借金を作った前の前の前の市長が悪いなんて言っても仕方ないですから。そういった事情があるということもご容赦、ご理解賜りますようお願いいたします。

〈市民8〉

施設一体型であれば、問題は解決できるのではないですか。

〈市民9〉

施設一体型にされるか小中統合にされるかで、選挙公約などはごもつともだと思うのですが、そもそも、子供たちの教育環境を考えたときに、学校規模として大きすぎるのが問題なのではというところが争点だったのかなと私は思っています。

小学校、中学校の子供たちには期待も持たせたいし、転校というか校区を移動することで負担がかかっているのはもちろん、この子供たちの意見も保護者の意見も聞くってところが、聞く前に大規模での子供たちへの危険性ってところが話し合われていないという部分が、少し軸がぶれていることに、みんなどこを争点にしたらいかわからない、決められないというところに何かあるのかなと思っています。

もし小中一体型で進めるに当たっても大規模になった場合は、必ず綺麗な学校に行けても子供たちの教育環境としては危険が出てくるのではないかと思います。そうなったときにもしかすると校区変更なども考えて進められるのかとか、そういう見通しがなければどちらがいいのかを選ぶのは保護者自身も難しいからこそ、我が子の現状を訴えざるを得ないのではないかと思います。プールやトイレだったり、通学路だったりというところの学校教育の環境として、学校規模が大きいのではないかと、なかなか保護者自身が考えにくいところを教育委員会や市の皆さんがどちらの方を向いていかれるのかというところが、この工期やお金というところでは見えない部分の大切なところのお話をもっとたくさん聞ければ、保護者としては安心できるかなと思っています。

〈市長〉

ご指摘は本当にその通りで、だからそれをやるために本当なら住民投票をやるべきだったと思っていますし、少なくとも今回デザインビルドで施設一体型小中一貫校を建設することになっていますが、本当なら、市長選挙の前にそういったことはせず、少なくとも解体だけや設計だけなどにして、市民があとは選挙が終わったら選択できるようにしておけばこんな混乱にはならなかったと思っています。ただし、黒田さんの時代にもう全部契約結ばれて、今に至っており大規模がどうかというところの議論を簡単には覆せない状況に今はもうなってしまうのです。

当然のことながら、私は小学校と中学校を分離して、運動場については結果として1人あたりは広くなり、過大規模についても解消されるという利点はあると思っていますが、簡単にはもう覆せないという状況になってしまったということが現状です。ご意見もごもっともですが、そのご意見通りに今スパッとできるわけにもいかないという状況です。市長は選挙で変わったとしても議員は変わるわけではないです。また、副市長は市長がクビだっていったら、クビになるのです。

ところが、教育委員と教育長に関して、私がクビだと言ってもクビにはできません。そういう事情もあるのです。教育委員会は職員さんがいますが、あれこれ指示命令できるのかということそれできないのです。それが教育委員会制度なのです。これが本当の話なのです。

そういう状況にあって、もう契約が結ばれて議会も変わってなくて、ではどうするのかというのが今の状況なのです。だからなかなか市民の皆さんや保護者の方もどうなっているのかという思いも当然高まっていると思っています。それは十二分に市も承知しています。ただなかなか答えられないところも多々あるということに関してはご容赦賜れたらと思っている次第です。

〈市民10〉

児童生徒の教育環境ではなくソフト面での教育の実態については、平成29年度からスタートしていろんな話をされて現在に至っています。そして教育委員会で主にソフト面の問題、いわゆる子供たちの成長過程の中でどのように教育していくかを中心に対応しておられ、ハード面の実態については、小中一貫教育については国の方針で進めていく、ただし市町村の実態に合った小中一貫教育ということで、施設

分離型もあり、施設一体型もあると、それについては地方自治体で考えてくださいという考え方だったと理解しています。

ただ、教育委員会でハード面をどうするかについての決定権などはまずないと思います。予算的なものは、基本的には市長部局になると思いますので、教育委員会に一定の責任をとらずということについては果たしてどうかと考えておりますので、市長に一考を願えたらと思います。いわゆるソフト面は教育委員会で当然責任を持ってもらわなければなりません、ハード面、施設整備の問題については、一定教育委員会からの進言はあるかと思いますが、基本的には市長部局、まして市長、議会の方で採用されていかれる問題ということで、教育委員会と離れている部分もあるのではと思いますので、見解をお伺いしたい。

〈市長〉

確かに発注に関しては企画財政部で行っています。ただし、交野市の体制では実質的に業務をすすめているのは、交野市教育委員会の学校教育部で進めています。建築士もおり学校管理は学校管理部で行っていますし、今回の小中一貫校のハード面に関してや、今日の資料作成も教育委員会です。今の交野市の体制としてはそういう状況でございます。

以上